

IIxil ラフィス 室内ドア ライン枠 取付け説明書



MAP546

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

⚠ 警告



●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

- (1)ペースメーカー等の体内埋込型機器
- (2)人工心肺等の生命維持用機器
- (3)装着型の心電計等

⚠ 注意



●丁番のロックねじを必ず締めてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。
(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、はがす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き of 長期保管はソリ・ねじれの原因になるので、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。

重要チェック項目



No.	チェック内容	
1	躯体開口寸法を指定通りにしましたか？（開口W公差 +4、-0）	☐
2	本体側丁番(上)のロックねじが締められていますか？	☐

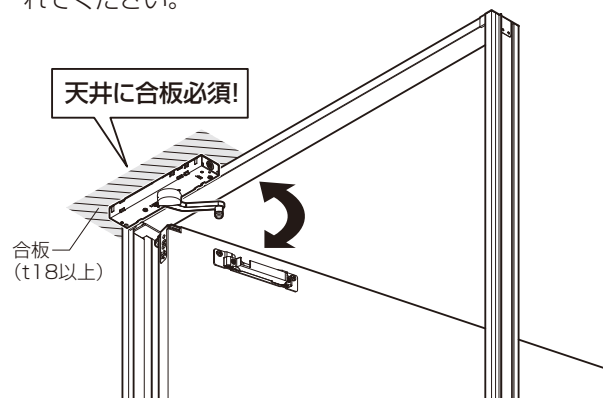


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

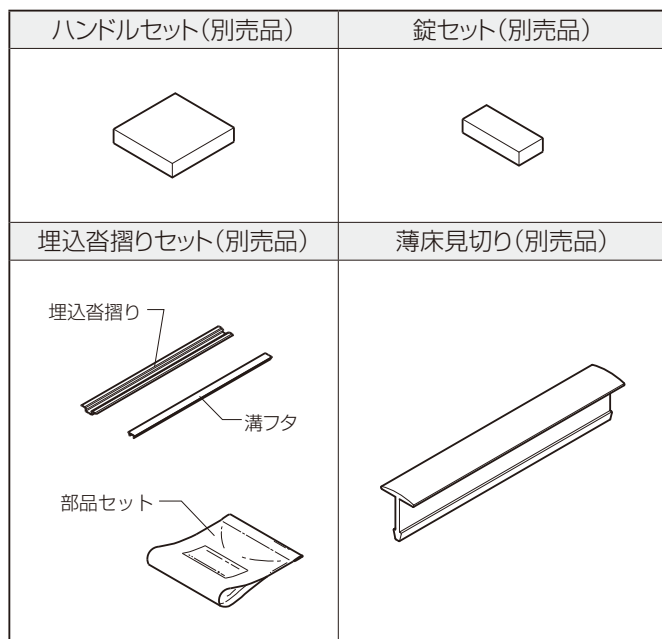
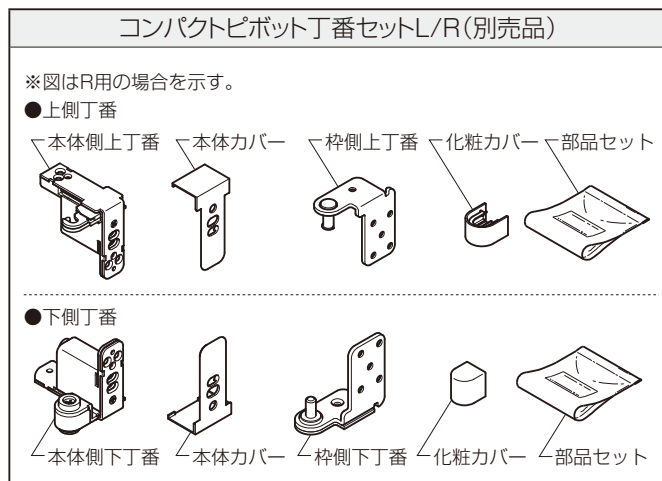
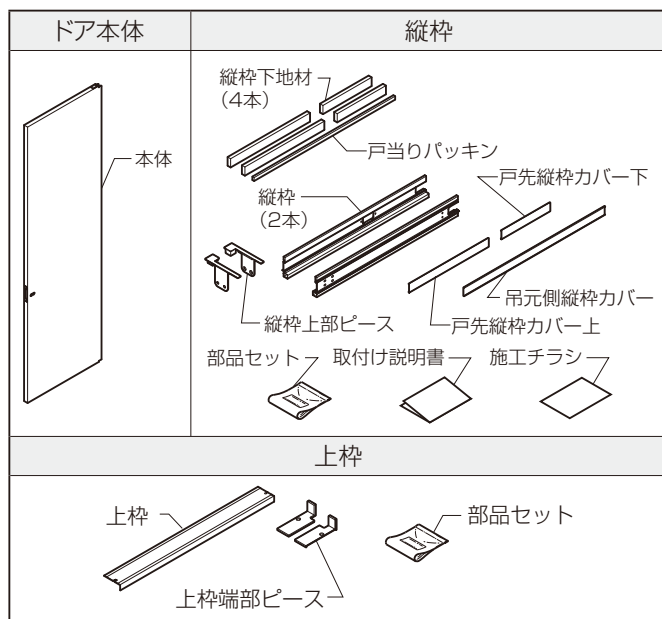
●ドアソフトモーション(オプション)の取付けについて

ドアソフトモーション(オプション)は、ライン枠施工後に取付けます。詳細は、ドアソフトモーションに同梱の取付け説明書をご確認ください。

※ソフトモーションを取付ける位置の天井には下地を入れてください。



■部品・部材明細



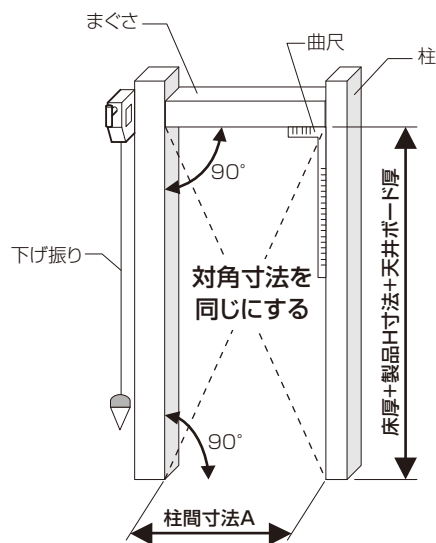
本取付け説明書に記載のない別売品の取付けは部品同梱の取説を参照してください。

□開口部の施工

開口部施工上のお願い

- 開閉不良になるので、以下のことを行ってください。
 - ・柱間寸法公差(+4、-0)を守ってください。
 - ・幅特寸時は特寸W寸法を確認してください。
 - ・下げ振りを使って柱が垂直になるよう設置してください。
- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の材料を使用してください。
- 【軽量鉄骨に施工する場合】
施工不良となるので、必ず木枠を入れてください。

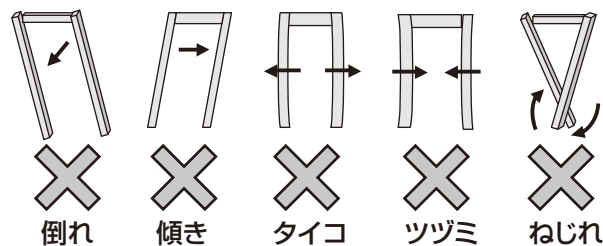
- ①柱間寸法Aが下表の寸法になるよう柱を設置してください。
- ②縦枠現物合わせでまぐさを施工してください。



公差：+4mm、-0mm

W呼称	枠外W寸法	寸法A
055	648	648
06	734	734
065	754	754
07	805	805
08	824	824
09	868	868

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



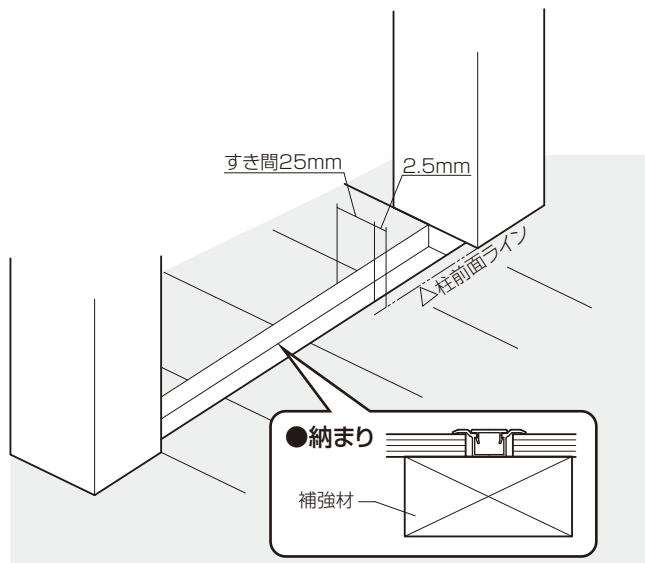
2 床の施工

床施工上のお願い

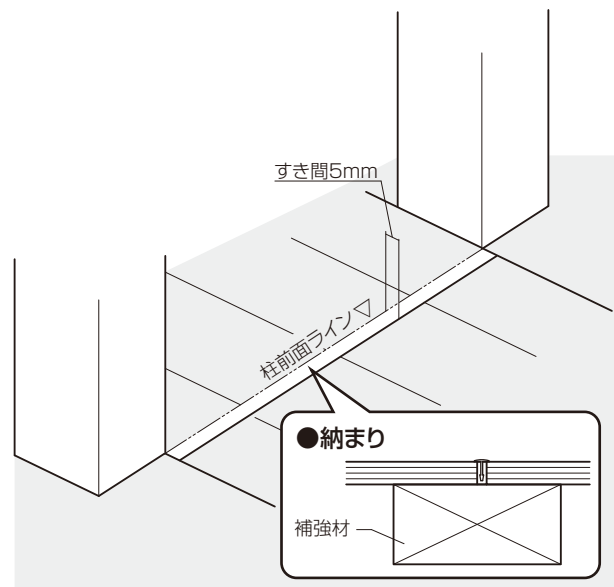
- 下枠を正しく施工するため、床を見切る場合は以下を守ってください。
 - ・指定の位置で見切ってください。
 - ・補強材を入れてください。

- 床を見切る場合は下図の位置にすき間をあけて床材を張ります。

■埋込沓摺り



■薄床見切り



3 縦枠下地材の取付け

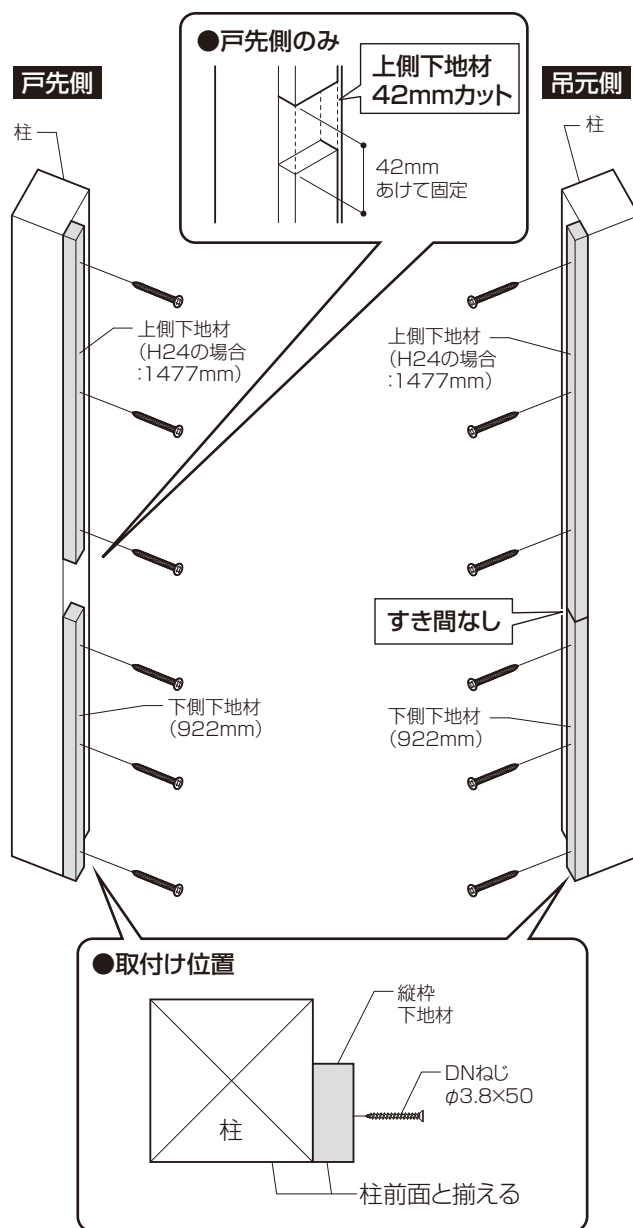
縦枠下地材取付け上のお願い

- 縦枠を正しく施工するため、取付け前に下地材長さを確認し、上側・下側を間違えないでください。

- ①柱の前面に合わせて922mmの下側下地材を柱にねじで固定します。
- ②戸先のみ、上側下地材を42mm切断してください。
- ③柱の前面に合わせて上側下地材をねじで固定します。戸先の
上側下地材は下側下地材と42mmあけてねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
DNねじ φ3.8×50	12

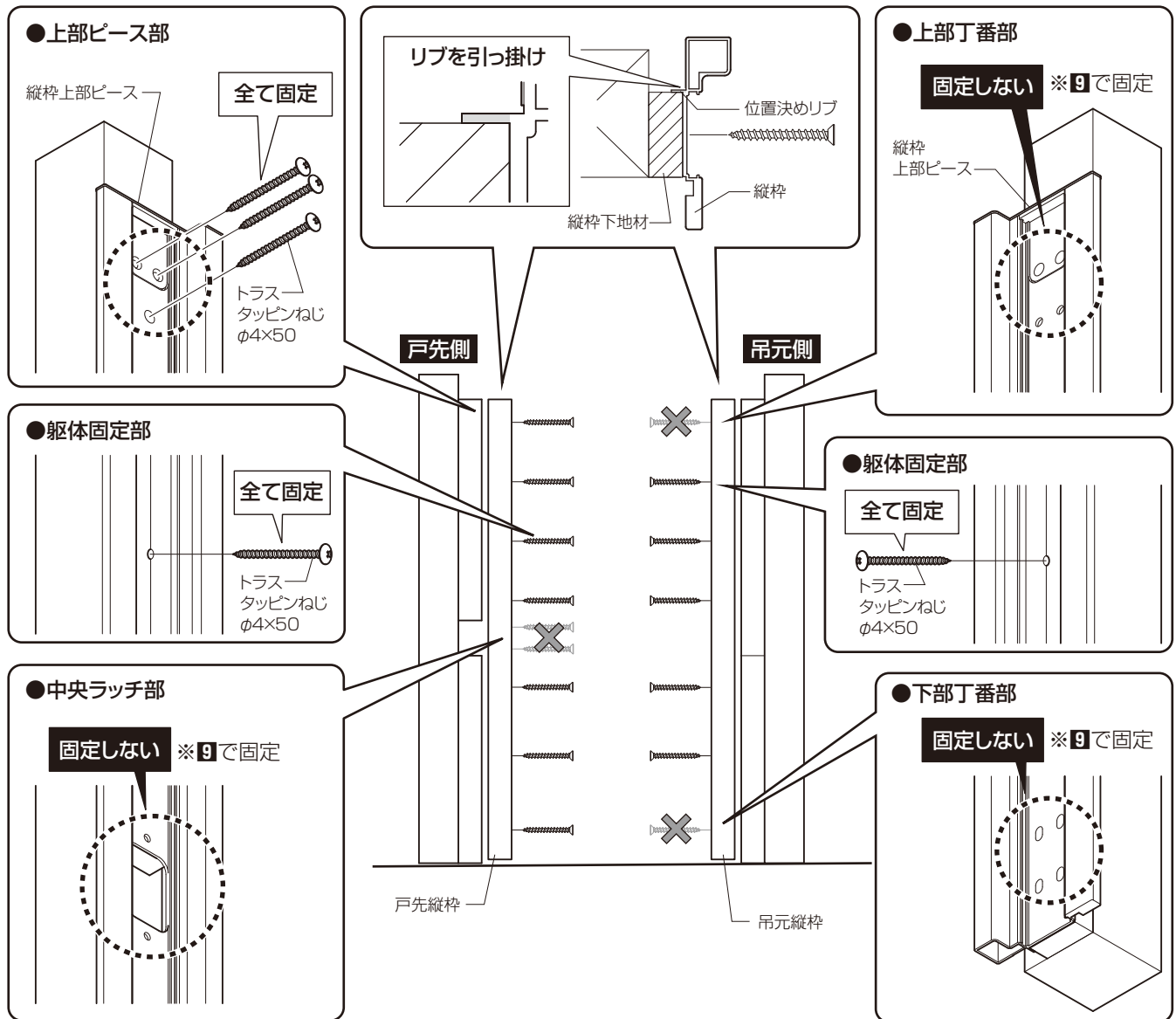


4 縦枠の取付け

●縦枠を縦枠下地材に固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
トラス— タッピンねじ φ4×50	14



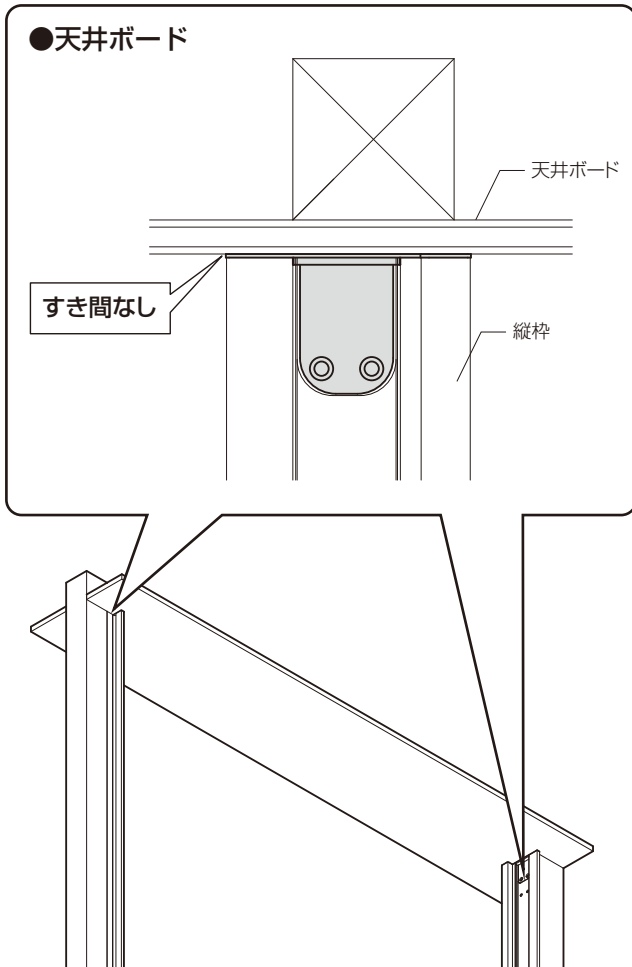
5 天井ボードの施工

天井ボード施工上のお願い

- 外観不良になるので、天井ボードは縦枠に合わせてすき間ができないように施工してください。
- ドアソフトモーションを取付ける場合
天井ボード施工前に、部品取付け位置に下地が入っていることを確認してください。

- 縦枠との間にすき間があかないよう天井ボードを取付けてください。

●天井ボード



6 上枠の取付け 三方枠仕様時のみ

上枠取付け上のお願い

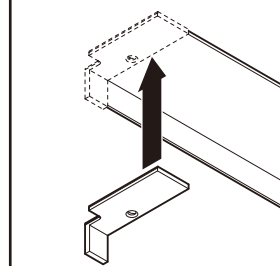
- 上枠を正しく取付けるため、先に天井を施工してください。

- ① 上枠端部ピースを上枠にはめ込みます。
- ② 上枠を指定のねじで固定します。端部は指定のねじで上枠端部ピースと共締めします。

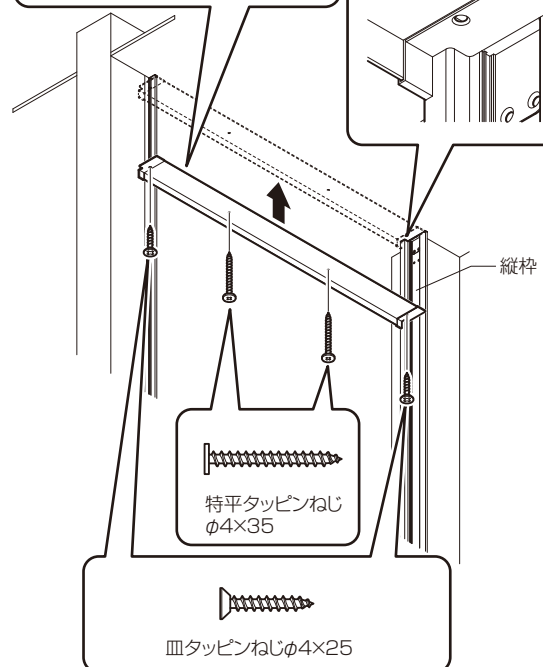
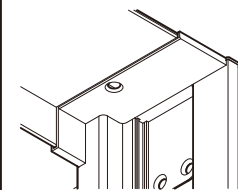
■上枠部品セット

部品名	数量
皿タッピンねじ φ4×25	2
特平タッピンねじ φ4×35	3 (1本は予備)

●上枠端部ピースはめ込み



●端部納まり



7 埋込沓摺りの取付け

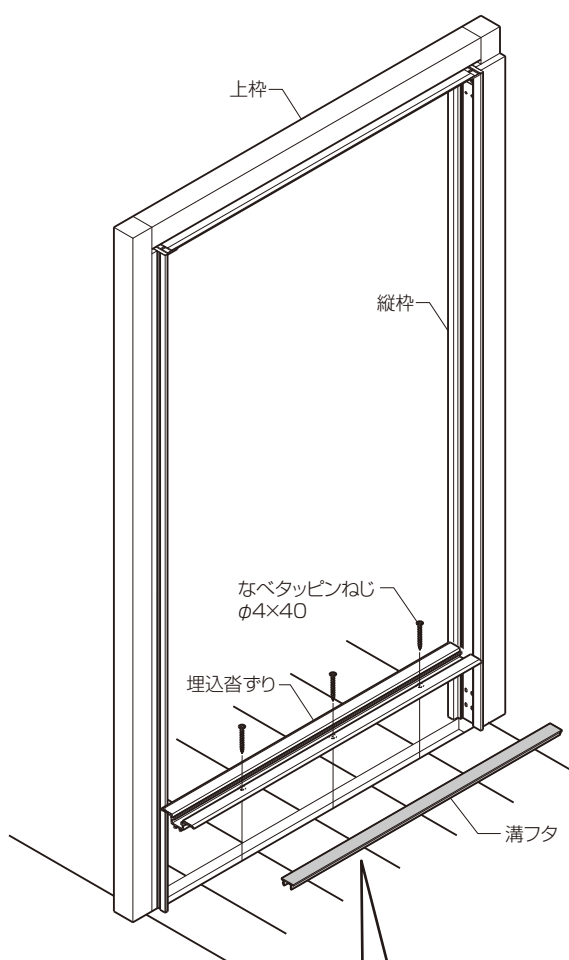
埋込沓摺り取付け上のお願ひ

- 部材の変形につながるので、埋込沓摺りの下に必ず補強材を入れてください。
- 変形してしまうので、溝フタは一度はめ込んだら取外さないでください。

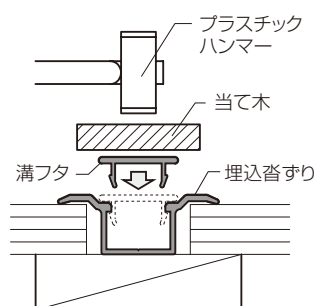
- ①埋込沓摺りを同梱のねじで固定します。
- ②当て木をし、溝フタが均一になるまでたたき込んでください。

■埋込沓摺りねじセット

部品名	数量
なべタッピンねじ φ4×40	4



●溝フタの取付け

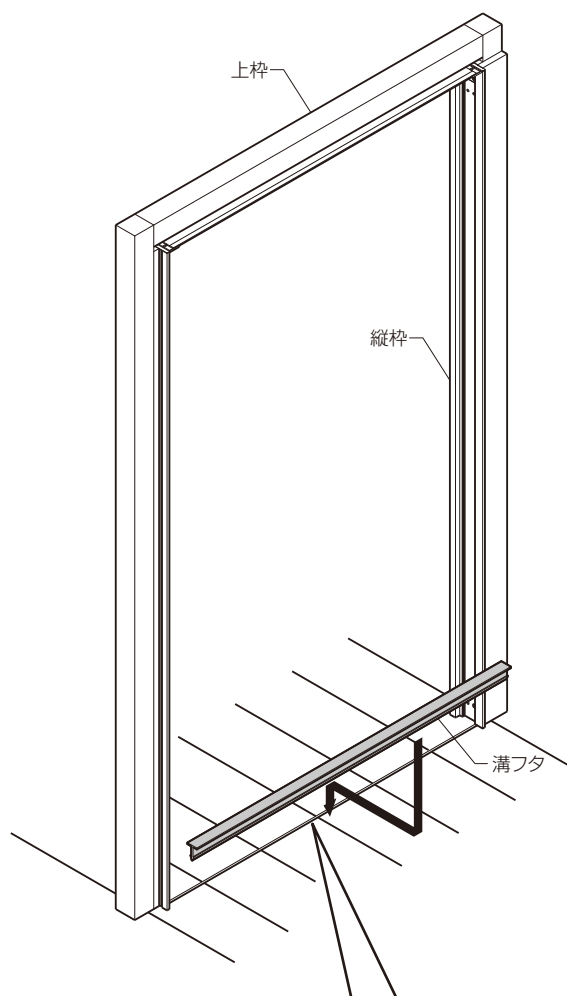


8 薄床見切りの取付け

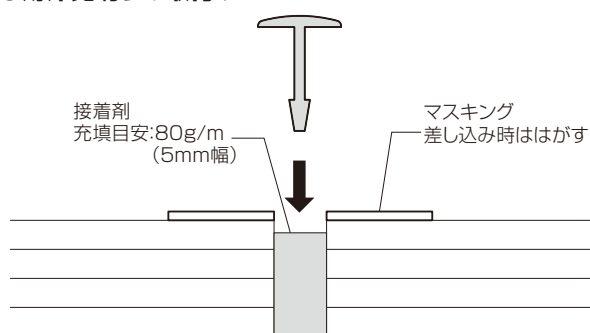
薄床見切り取付け上のお願ひ

- 薄床見切りのはがれを防ぐため、下記事項をお守りください。
- ・2液タイプのエポキシ樹脂接着剤(現場手配)を使用してください。(硬化時間30分以上)
- ・1m/5mm幅あたり約80gの接着剤を充填してください。
- 床を汚してしまうので、必ずマスキングをして接着剤を充填してください。

- ①床のすき間の両側にマスキングをし、エポキシ樹脂接着剤(現場手配)を充填してください。
- ②マスキングをはがし、薄床見切りを差込みます。はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。



●薄床見切りの取付け



9 縦枠への部品取付け

縦枠への部品取付け上のお願ひ

- 開閉不良となるので、以下の床には直接丁番を設置しないでください。(クッションフロア、防音フロア、弾性のある床)
- 開閉に支障がでるので、ラッチ受けは正しい向きに取付けてください。

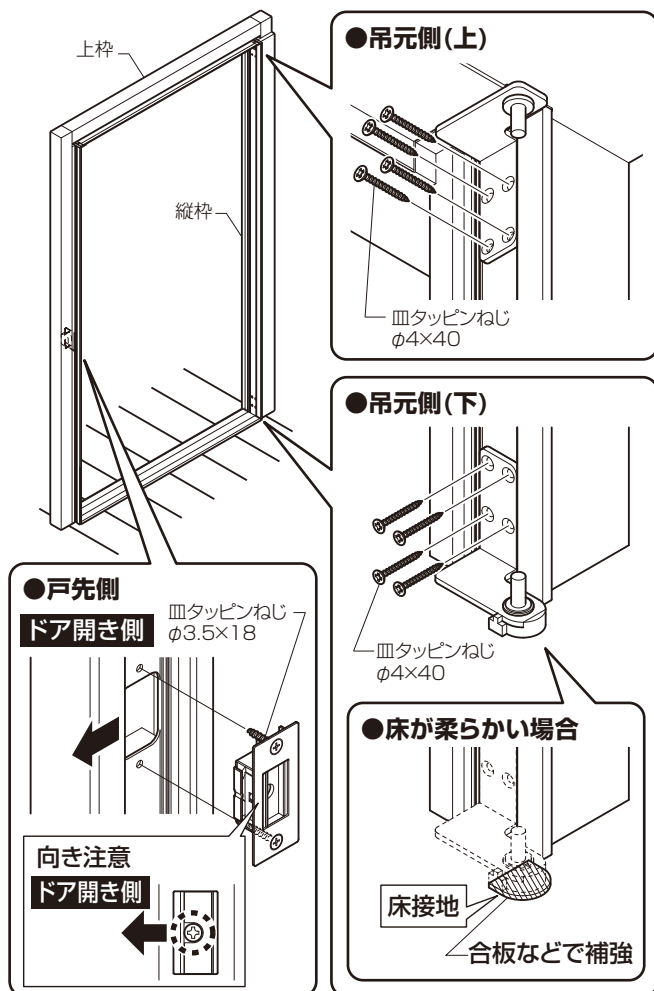
- ①ラッチ受けを同梱のねじで固定します。
- ②枠側丁番を丁番セットに同梱のねじで固定します。

■縦枠用部品セット

部品名	数量
マグネットラッチ受け	1
皿タッピンねじφ3.5×18	2

■コンパクトピボット丁番セットL/R (別売品)

部品名	数量
枠側上丁番 ※図はR用の場合を示す	1
枠側下丁番 ※図はR用の場合を示す	1
皿タッピンねじφ4×40	16 (本工程では8本使用)



10 縦枠カバー材の取付け

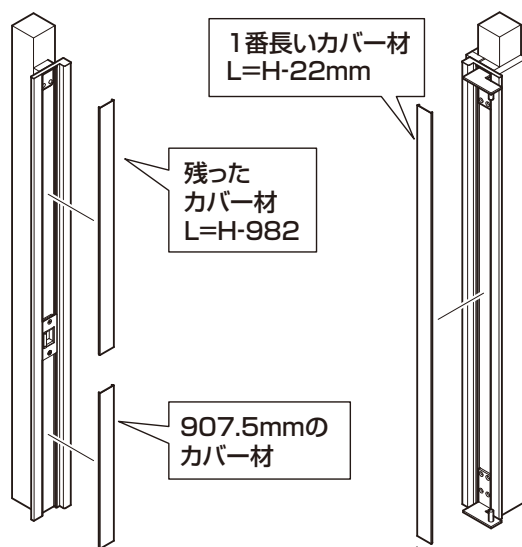
縦枠カバー材取付け上のお願ひ

- 一度はめると外せないので、各縦枠カバー材の取付け位置を間違えないでください。
- 縦枠カバー材が変形するので、当て木をしてたたき込んでください。

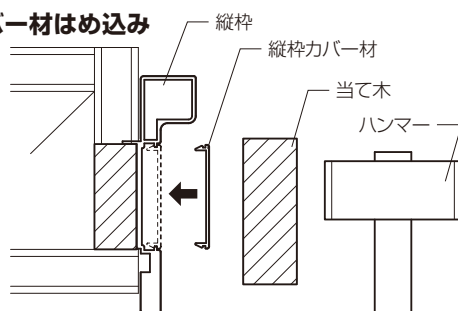
- ①一番長いカバー材を吊元側縦枠にはめ込みます。
- ②長さ907.5mmのカバー材を戸先縦枠下側にはめ込みます。
- ③残ったカバー材を戸先縦枠上側にはめ込みます。

■戸先側

■吊元側

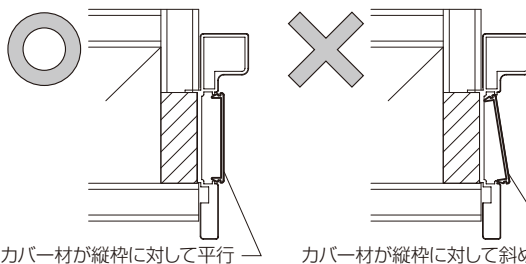


●カバー材はめ込み



たたき込みのコツ

縦枠カバー材を縦枠に対してまっすぐあてがい、たたき込んでください。



ラフィス
室内ドア ライン枠
縦枠カバー材取付け
&取外し方法



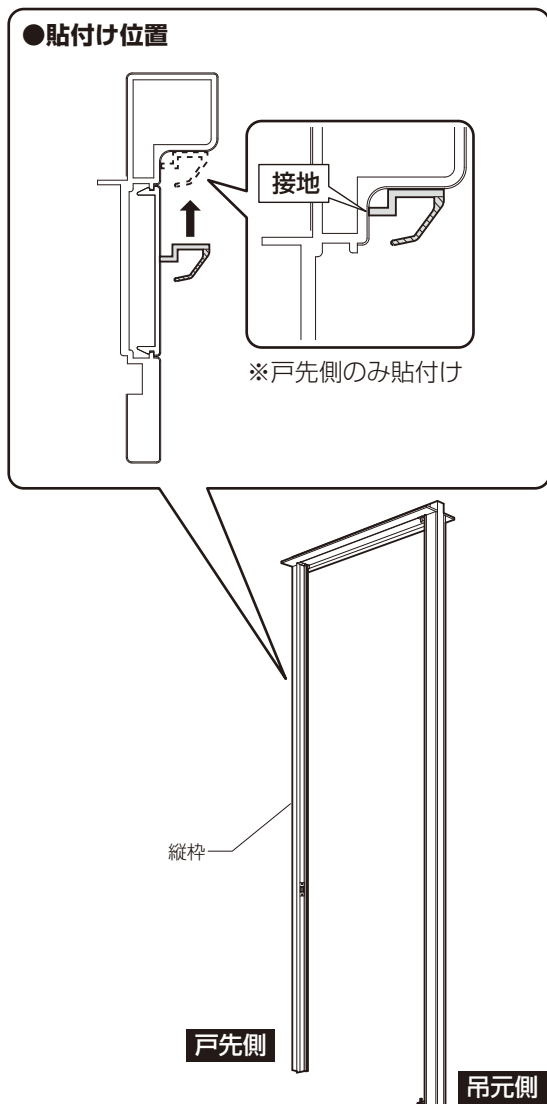
11 戸先戸当りの貼付け

戸先戸当り貼付け上のお願ひ

- 戸当たりがはがれるので、貼付け面の汚れや油分を除去してから貼付けてください。

- ①戸当たりを戸先側縦枠の長さに合わせてカットしてください。
- ②貼付け面の汚れや油分を除去してください。
- ③戸当たりのリケイ紙をはがし、戸先側縦枠に貼付けてください。

●貼付け位置

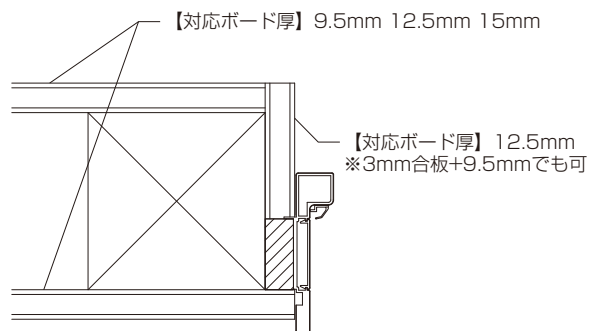


12 壁面ボードの施工

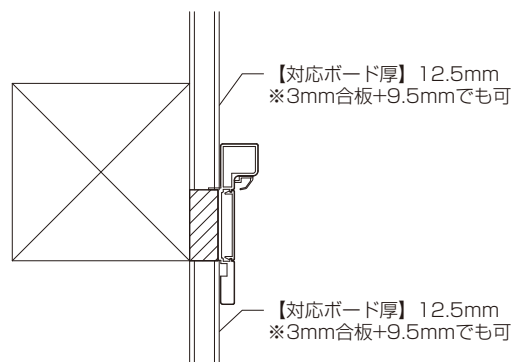
壁面ボードの施工上のお願ひ

- 壁面ボードを正しく施工するため、使用するボード厚は以下の通りとしてください。

●平入納まりの場合



●両入納まりの場合



Ⅲ 幅木の施工

幅木施工上のお願い

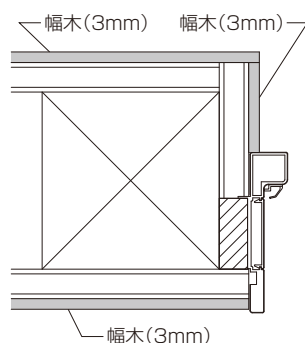
- 施工不良となるので、幅木は弊社で設定のある以下のライン幅木を使用してください。
(ライン幅木(樹脂)、(木質)、(クッション付))
- ライン幅木(樹脂)は、はがれるので、クロスの上からソフト幅木用接着剤で貼付けしてください。

■ライン幅木(樹脂)

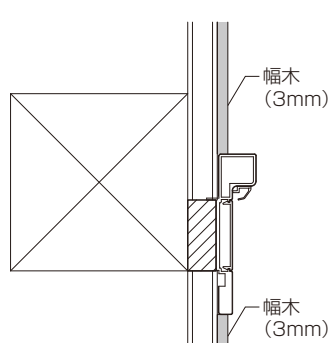
- ①壁面ボードとクロスを施工してください。
- ②クロスの上から専用接着剤でライン幅木を貼付けしてください。

クロス⇒幅木の順で取付け

●平入納まりの場合



●両入納まりの場合



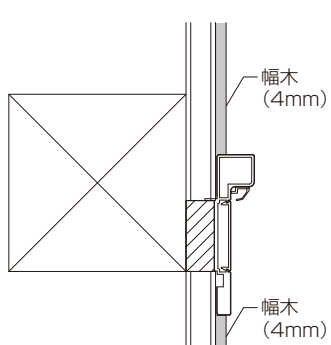
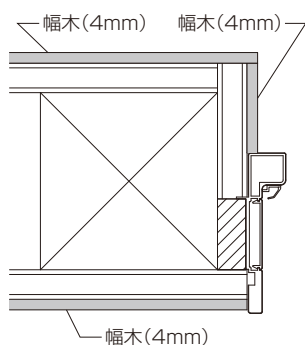
ラフィス
ライン幅木(樹脂)
施工説明動画



■ライン幅木(木質)(クッション付)

- ①壁面ボードの施工をしてください。
 - ②ライン幅木の裏面全体に接着剤※をまんべんなく塗布して貼付けしてください。
 - ③かくし釘またはフィニッシュネイル※(200～300ピッチ)で固定してください。
- ※現場手配

幅木⇒クロスの順で取付け



Ⅳ 本体への部品取付け

本体への部品取付け上のお願い

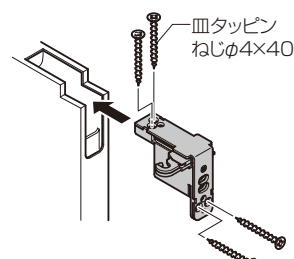
- 本体を正しく吊込むため、取付けの際は本体の上下を確認してください。

- ①本体に本体側丁番をねじで固定します。
- ②上下の丁番に本体カバーをかぶせます。

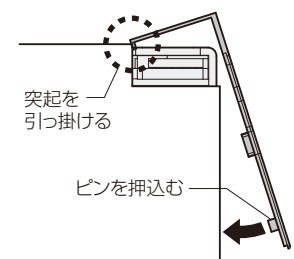
■コンパクトピボット丁番セットL/R(別売品)

部品名	数量
本体側上丁番 ※図はR用の場合を示す	1
本体側下丁番 ※図はR用の場合を示す	1
皿タッピンねじφ4×40	16 (本工程では8本使用)
上側本体カバー ※長い方が上側です	1
下側本体カバー ※短い方が下側です	1

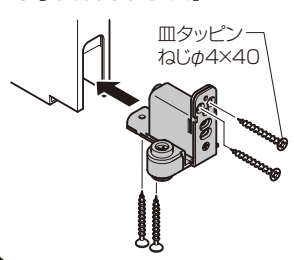
①【本体側上丁番】



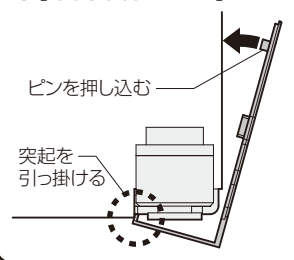
②【上側本体カバー】



①【本体側下丁番】



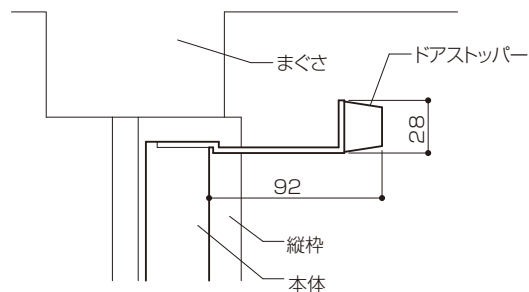
②【下側本体カバー】



Ⅵドアストッパーの取付け(オプション)

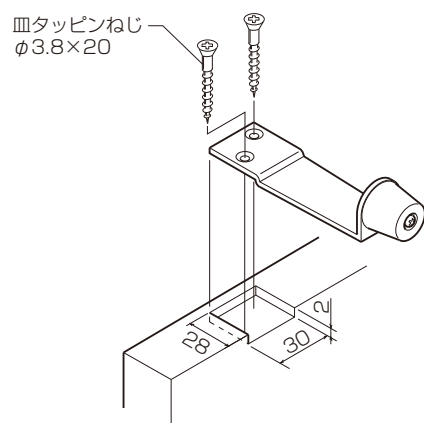
ドアストッパー取付け上のお願い

- 天井納まりには取付けできません。
- ドアストッパーの当たる面に干渉するものがないことを確認してください。



- 本体上部を切り欠き、現物合わせで下穴加工をして取付けます。

■本体上部取付け



オプション品以外の市販のドアストッパーは取付けできません。

Ⅷ 本体の吊込み

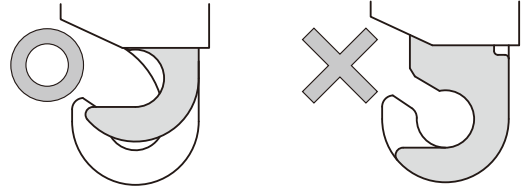
▲ 注 意



● 丁番のロックねじを必ず締めてください。本体が脱落しケガをするおそれがあります。

本体吊込み時のお願い

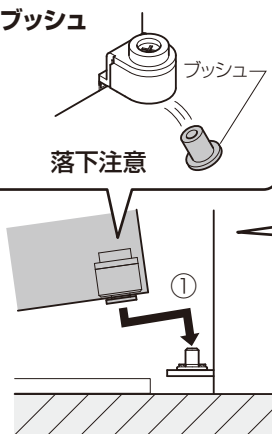
● 吊込みできなくなるので、上丁番のロックねじを緩め、フックを図の状態にしてください。



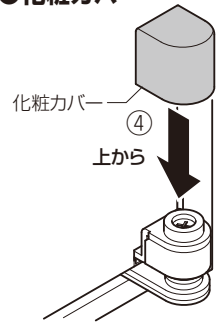
● 床のキズ防止のため、本体吊込み時、床に養生してください。
● 本体キズ防止のため、採光窓・鏡面色表面の保護シートは吊込み後にはがしてください。

● 下丁番

● プッシュ

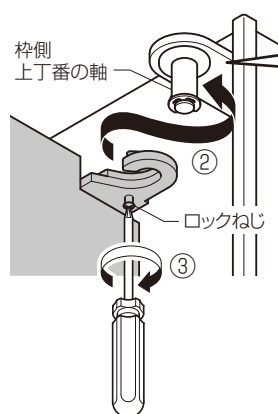


● 化粧カバー

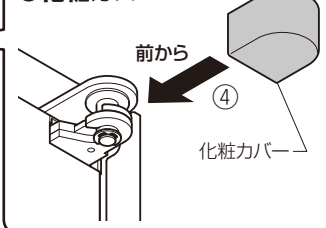


- ① 本体側下丁番の軸受けに枠側下丁番の軸を差込みます。
- ② 本体側上丁番のフックを枠側上丁番の軸に引っ掛けます。
- ③ 上丁番のロックねじを締めます。
- ④ 上下それぞれ化粧カバーを取付けます。

● 上丁番



● 化粧カバー

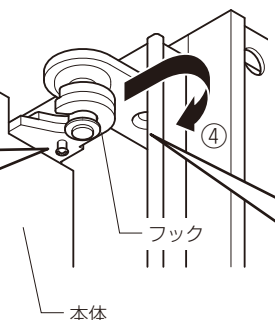
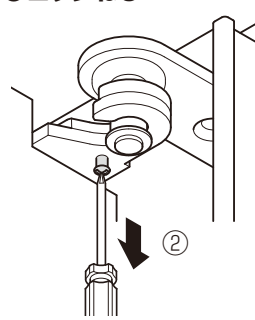


床に養生

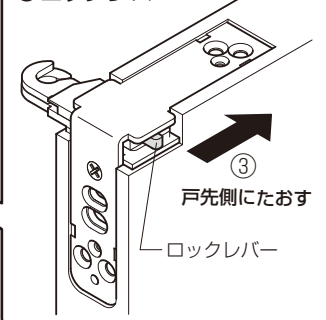
● 本体の取外し方法

- ① 上下の化粧カバーを外します。
- ② 上丁番のロックねじをゆるめてください。
- ③ 上丁番裏面のロックレバーを戸先側にたおします。
- ④ ロックレバーをたおしたまま軸から外してください。

● ロックねじ



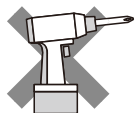
● ロックレバー



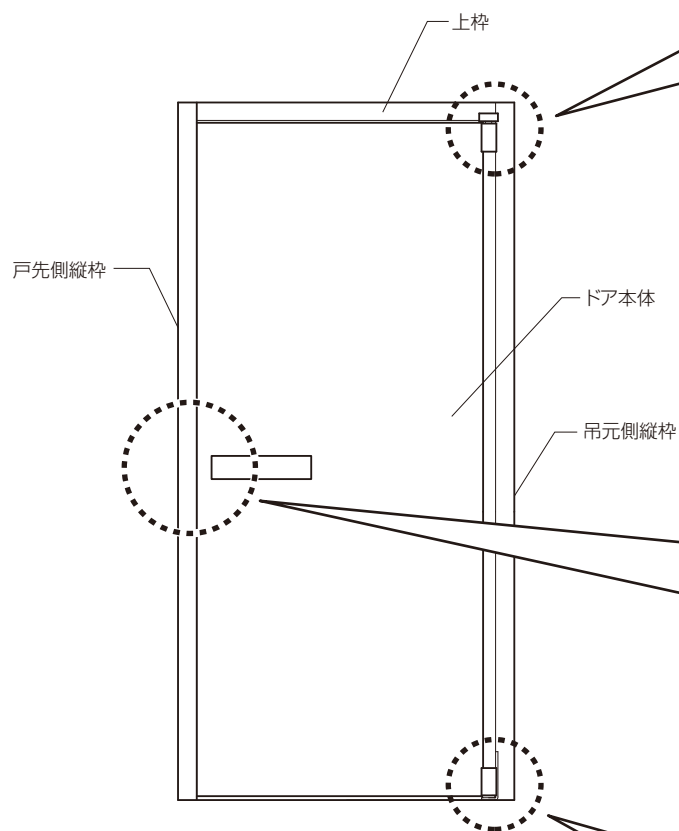
17 建付け調整

建付け調整時のお願い

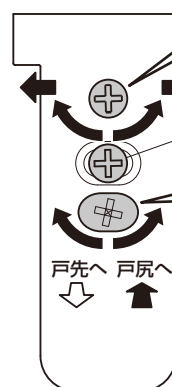
- 製品破損となるので、必ず手回しドライバーで調整してください。



**電動
ドライバー 使用厳禁**



●上丁番調整



●奥行調整

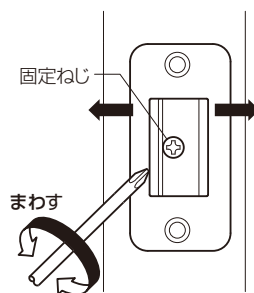
調整可能範囲
前 (2mm)
後 (2mm)

●左右調整

調整可能範囲
吊元側 (2mm)
戸先側 (2mm)

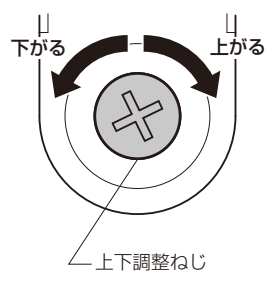
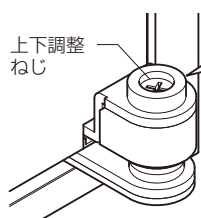
- ①(奥行調整のみ) 固定ねじをゆるめてください。
- ②各調整ねじを回すと矢印の方向に本体が動きます。
- ③位置を調整して固定ねじを締めてください。

●奥行調整 (ラッチ側)



調整可能範囲
前 (3mm)
後 (3mm)

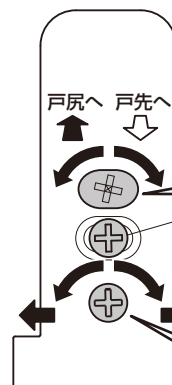
●上下調整



- ①カバーを外してください。
- ②上下調整ねじを回して上下調整をしてください。

調整可能範囲
上 (2mm)
下 (2mm)

●下丁番調整



●左右調整

調整可能範囲
吊元側 (2mm)
戸先側 (2mm)

●奥行調整

調整可能範囲
前 (2mm)
後 (2mm)

- ①(奥行調整のみ) 固定ねじをゆるめてください。
- ②各調整ねじを回すと矢印の方向に本体が動きます。
- ③位置を調整して固定ねじを締めてください。

13 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



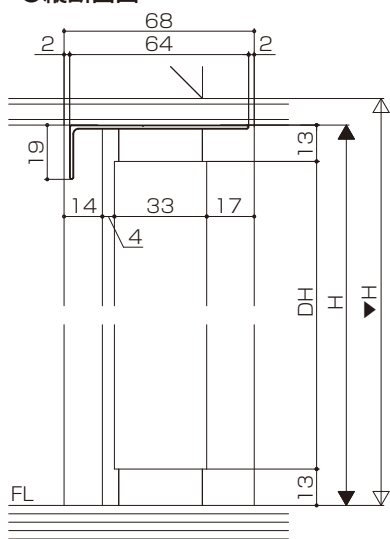
●スマホ画面

○お客さまサポート

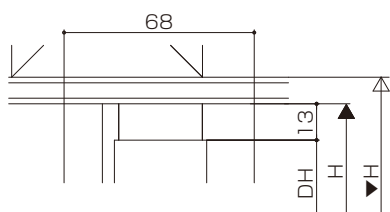
- ▲ 安全にお使いいただくために (+)
- 🔍 よくあるお問い合わせ (+)
- 🧹 お手入れ・お掃除 (+)
- 📖 取扱説明 (+)
- 🔧 調整方法 (+)
- ⚠ 故障かなと思ったら (+)
- 🔧 施工説明 (+)
- 🛒 部品購入 (🔍)
- 📞 お問い合わせ (+)
- 🛠 修理のご依頼 (🔍)
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 (🔍)

■納まり図

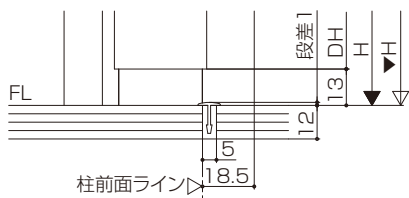
●縦断面図



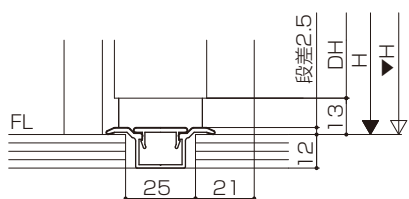
天井納まり【三方枠】



天井納まり【上枠なし】

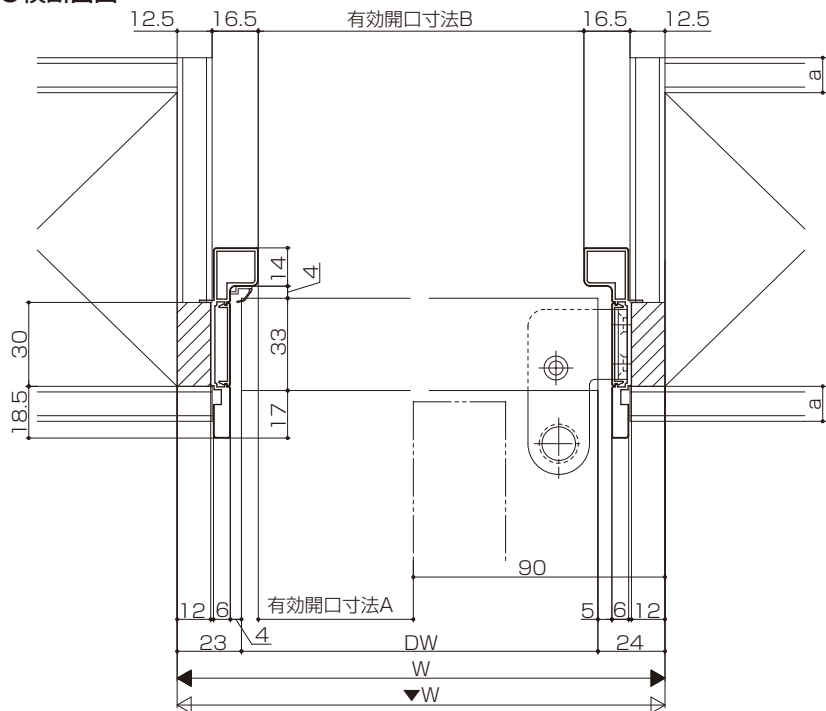


薄床見切り納まり



埋込沓摺り納まり

●横断面図



対応壁面ボード厚a:9.5mm、12.5mm、15mm

有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W055 (648)	529	590
W06 (734)	615	676
W065 (754)	635	696
W07 (805)	686	747
W08 (824)	705	766
W09 (868)	749	810

H呼称(枠外寸法)	算出式: A寸法=W-119
H24 (2400)	算出式: B寸法=W-58
	DW寸法=W-47

MEMO

MEMO
